

6. H23年度上期の取り組み

取り組みの柱

通信サービスの復旧

被災地支援の取り組み

光の利活用促進

取り組み内容

- 応急復旧に向けた取り組み(～H23.5)
(中継伝送路・通信ビル・アクセス設備等の応急復旧)
 - ▶ 中継伝送路の仮復旧、他通信ビルへの収容替え、応急復旧用可搬型通信設備の設置等の工夫により、重要拠点の復旧を最優先に実施
 - ▶ 建物・通信設備、アクセス区間の応急復旧措置による居住エリアの復旧
- 本格復旧に向けた取り組み(H23.5～)
 - ▶ サービスの信頼性レベルを震災前の状態に戻すことによる、安定した通信サービスの提供(ビル設備の修復、中継伝送路の2ルート化 等)



宮城県石巻市北上町

- 仮設住宅へのTV電話による遠隔健康相談のサポート(H23.5)
 - ▶ テレビ電話を利用したヘルスケア・メンタルケアの遠隔健康相談
- セブン&アイ、NTT-BPとの連携による仮設住宅に対する「買い物支援サービス」の共同展開(H23.7)
- 慶祝用電報台紙「応援花(おうえんか)」の販売開始(H23.8)
 - ▶ 東北地方の復興を願い応援する目的で、東北6県の県花を刺繍。販売価格の半額相当を被災地へ寄付
- フレッツ光メンバーズクラブにおける義援金募集(H23.3～H23.9)



買い物支援サービス(画面イメージ)



慶祝用電報台紙「応援花」



- 「フレッツ 光ライト」の提供開始(H23.6) 福島・青森・山形・秋田 H23.7～
宮城・岩手 H23.8～
- 地域医療連携基盤「タイムライン連携システム」のトライアル開始(H23.6)
 - ▶ 異なる医療機関同士で電子カルテの情報を時系列で共有できる地域医療連携基盤の構築
- セブン&アイとの協業による便利で安心なお客様サービス提供(H23.7)
- 「NTT東日本-電力見える化サービス(仮称)」のトライアル開始(H23.7)
 - ▶ 家庭内の消費電力や電力会社の電力供給情報の可視化を光iフレーム等により実現



電力見える化サービス(画面イメージ)